



東映株式会社

2026年3月期 連結決算説明資料

(2025/4~2026/3)

公式X【東映公式ニュース】

https://x.com/TOEI_PR

公式LINE【東映IR News】

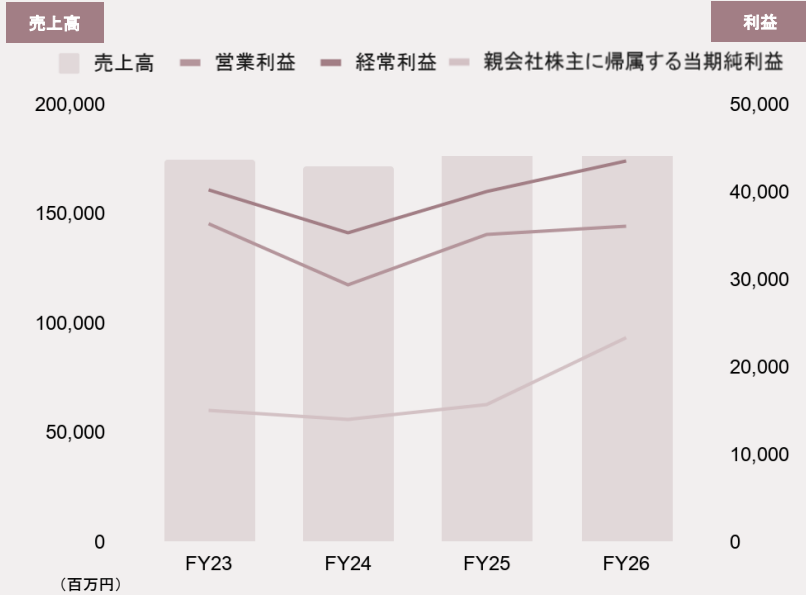
<https://lin.ee/5dETVtz>



2026年3月期連結決算

(百万円)	FY23	FY24	FY25	FY26	前期比較	
売上高	174,358	171,345	179,922	185,333	5,410	3.0%
売上原価	102,906	104,452	104,629	104,876	246	0.2%
販管費	35,113	37,550	40,137	44,360	4,222	10.5%
営業利益	36,339	29,342	35,155	36,096	941	2.7%
経常利益	40,172	35,317	39,992	43,543	3,551	8.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	15,025	13,971	15,722	23,320	7,597	48.3%

※FY=会計年度：FY26は2025年4月～2026年3月の期間
 ※百万円未満を切り捨てて表示しております。



2026年3月期連結決算の特徴

売上高

興行関連事業、建築内装事業が好調。また催事関連事業も堅調に推移。一方、コンテンツ事業の減少により映像関連事業が減収となった。以上から前期比3.0%増となった。

営業利益

興行関連事業、建築内装事業が大幅増益。また、催事関連事業、観光不動産事業も堅調に増益した。地代家賃、人件費、諸手数料等の増加により販管費が増加したものの、営業利益は前期比2.7%増となった。

経常利益

持分法投資利益の増加により、経常利益は前期比8.9%増加した。

親会社株主に帰属する当期純利益

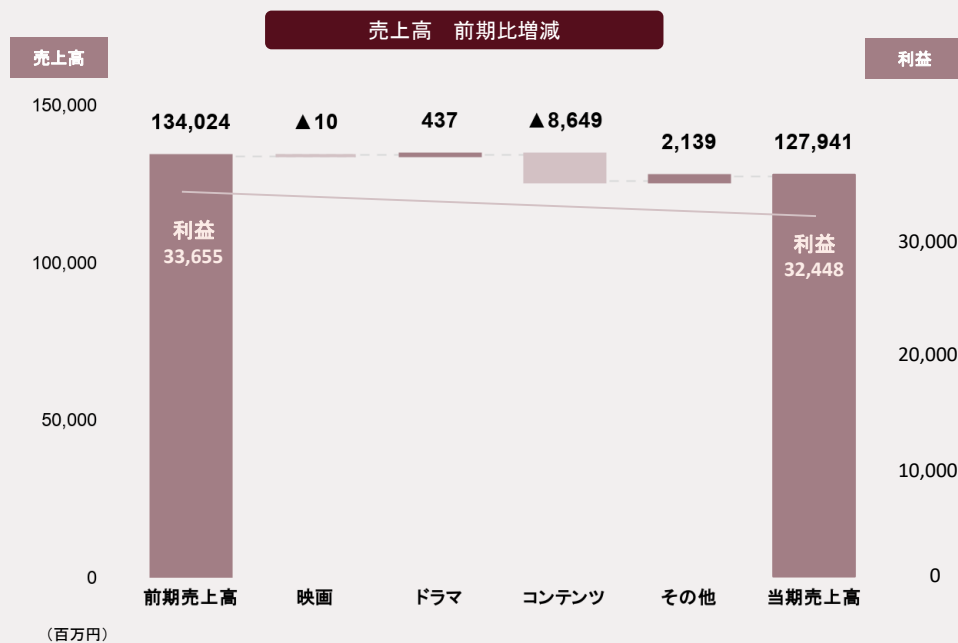
不動産売却益の特別利益の計上により前期比48.3%増となった。

セグメント	サブセグメント	FY25	FY26	増減	比較増減	セグメント割合	分析コメント
映像関連事業	映画	4,137	4,127	▲10	▲0.2%	3.2%	映画事業はヒット作が少なく前期比減。また、コンテンツ事業は前期好調だったアニメの国内配信および版権の反動減により前期比減。
	ドラマ	10,082	10,520	437	4.3%	8.2%	
	コンテンツ	98,435	89,786	▲8,649	▲8.8%	70.2%	
	その他	21,368	23,508	2,139	10.0%	18.4%	
	売上高合計	134,024	127,941	▲6,082	▲4.5%	100%	
	利益合計	33,655	32,448	▲1,207	▲3.6%		
興行関連事業	売上高合計	18,966	25,226	6,259	33.0%	100%	『劇場版「鬼滅の刃」無限城編 第一章 猗窩座再来』『国宝』『名探偵コナン 隻眼の残像』他の大ヒットにより大幅に増収増益。一昨年に開業したT・ジョイ エミテラス所沢が引き続き好調に稼働。
	利益合計	782	2,403	1,620	207.0%		
催事関連事業	催事	9,423	11,556	2,132	22.6%	88.8%	『ブンブンジャーファイナルライブ』『超クウガ展』『全スーパー戦隊展』他の催事における動員・物販が好調。太秦映画村はリニューアル工事によるエリア縮小が影響し減収。 ※太秦映画村は3月28日に第一期リニューアルオープン
	太秦映画村	1,779	1,450	▲329	▲18.5%	11.2%	
	売上高合計	11,203	13,006	1,803	16.1%	100%	
	利益合計	1,269	1,616	347	27.4%		
観光不動産事業	不動産賃貸	4,536	4,460	▲75	▲1.7%	64.5%	不動産賃貸事業、ホテル事業ともに堅調に推移。
	ホテル	2,302	2,459	157	6.8%	35.5%	
	売上高合計	6,838	6,920	82	1.2%	100%	
	利益合計	2,542	2,757	215	8.5%		
建築内装事業	売上高合計	8,890	12,238	3,347	37.7%	100%	大型工事の完成引き渡しにより増収増益。
	利益合計	496	1,390	893	179.9%		
	売上高合計	179,922	185,333	5,410	3.0%		
	利益調整額	▲3,591	▲4,519	▲927			
	利益合計	35,155	36,096	941	2.7%		

(百万円)

※百万円未満を切り捨てて表示しております。

(百万円)		FY25	FY26	増減比率	
映像関連事業	売上高	134,024	127,941	▲6,082	▲4.5%
	利益	33,655	32,448	▲1,207	▲3.6%



公開日	興行収入 (2026/3末時点)	作品名
4月25日	6.3億円	『花まんま』
6月27日	5.4億円	『でっちあげ～殺人教師と呼ばれた男』
7月25日	6.5億円	『映画『仮面ライダーガヴ お菓子の家の侵略者』』/ 『映画『ナンバーワン戦隊ゴジュウジャー 復活のテガソード』』
9月12日	12.1億円	『映画キミとアイドルプリキュア』お待たせ!キミに届けるキラッキライブ!』
9月19日	6.9億円	『宝島』
11月14日	2.4億円	『港のひかり』
12月5日	4.0億円	『ペリリューー楽園のゲルニカー』
12月19日	4.8億円	『楓』
2月13日	2.8億円	『僕の心のヤバイやつ』
2月27日	8.6億円	『木挽町のあだ討ち』

映像関連事業の分析

▶ 映画事業

ヒット作が少なく配給収入が減少し売上高は微減となった。

▶ コンテンツ事業

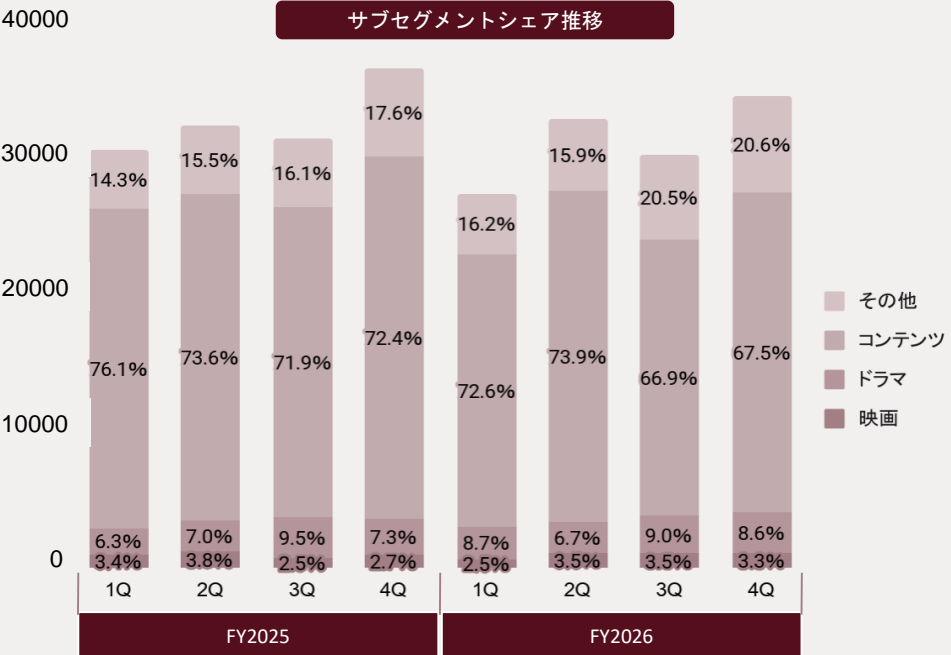
アニメ作品は、商品化権販売が好調だったが、前期好調だった国内の配信権販売や商品販売の反動減により減収となった。

実写作品は、『室町無頼』他新作の国内配信権販売が好調だった。

サブセグメント別売上高比較

(百万円)		FY25	FY26	増減比率	
映像関連事業 サブセグメント 売上高	映画	4,137	4,127	▲10	▲0.2%
	ドラマ	10,082	10,520	437	4.3%
	コンテンツ	98,435	89,786	▲8,649	▲8.8%
	その他	21,368	23,508	2,139	10.0%

サブセグメントシェア推移



映像関連事業のサブセグメント別分析

映画

『映画キミとアイドルプリキュア♪お待たせ！キミに届けるキラッキライブ！』がヒットし『木挽町のあだ討ち』が高稼働したものの、ヒット作が少なく前期と比べ配給収入が減少し、前期比微減。

ドラマ

アニメ作品は、前期と比較して放映作品数が減少。
実写は、新シリーズの番組製作および従来番組の受注単価増により増加。また旧作の企業広告へのキャラクターライセンス、ゲーム化権が堅調に推移。

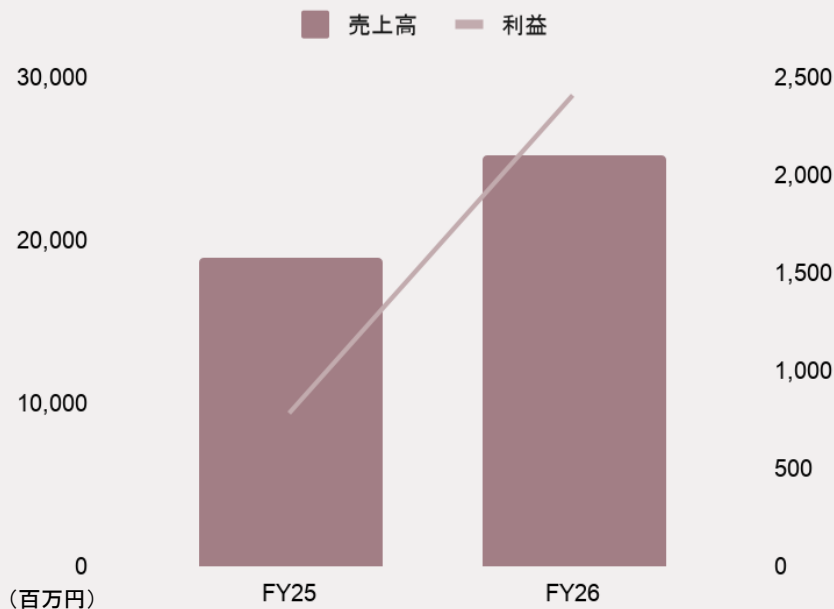
コンテンツ

▶ 国内
アニメは、前期に好調だった『THE FIRST SLAM DUNK』『鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎』等の国内配信権販売が反動減。また『ワンピース』『ドラゴンボール』シリーズの商品化権販売・ゲーム化権販売が前期比減。
実写は『室町無頼』等新作の配信権販売が好調。
▶ 海外
『ワンピース』『ドラゴンボール』シリーズの商品化権販売、『デジモンアドベンチャー』シリーズのアニメの商品化権販売・ゲーム化権販売が好調。配信は『ワンピース』が好調だったものの『ドラゴンボール』シリーズの配信権販売が減少。

その他

東映アニメーションの催事が、『ガールズバンドクライ』ライブ開催・会場物販、『キミとアイドルプリキュア♪』各施策等により好調に推移。

(百万円)		FY25	FY26	増減比率	
興行関連事業	売上高	18,966	25,226	6,259	33.0%
	利益	782	2,403	1,620	207.0%



興行関連事業の分析

株式会社ティ・ジョイによるシネマコンプレックス（共同経営・共同運営）の運営が中心。

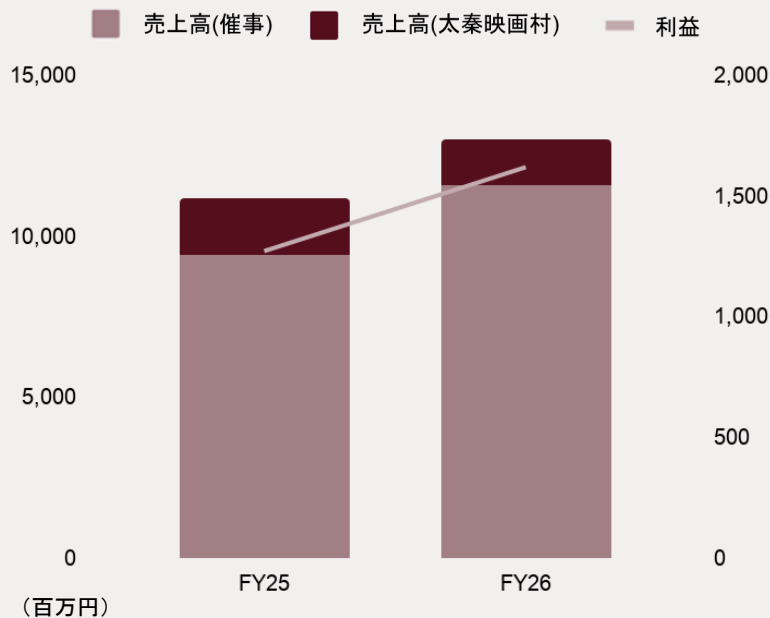
23サイト230スクリーン体制（2026年3月末現在）で展開。

※東映株式会社の直営館は2025年7月27日をもってすべて閉館

『劇場版「鬼滅の刃」無限城編 第一章 猗窩座再来』『国宝』が大ヒットし、また『名探偵コナン 隻眼の残像』『劇場版 チェンソーマン レゼ篇』『ズートピア2』『超かぐや姫！』等が高稼働した。加えて一昨年開業したT・ジョイ エミテラス所沢が好調となり、売上高が増加。

販管費は劇場売上増による変動家賃等により増加したが、増収により利益は大きく増加。

(百万円)		FY25	FY26	増減比率	
催事関連事業	売上高	11,203	13,006	1,803	16.1%
	利益	1,269	1,616	347	27.4%



催事関連事業の分析

サブセグメント別売上高比較

(百万円)		FY25	FY26	増減比率	
催事関連事業	催事	9,423	11,556	2,132	22.6%
	太秦映画村	1,779	1,450	▲329	▲18.5%

催事

▶ イベント事業

『超クウガ展』『全スーパー戦隊展』『爆上戦隊ブンブンジャーファイナルライブツアー 2025』『鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎』(舞台)『キミとアイドルプリキュア』(各種フロア催事)等が好調。また、催事の動員に加え物販が好調。

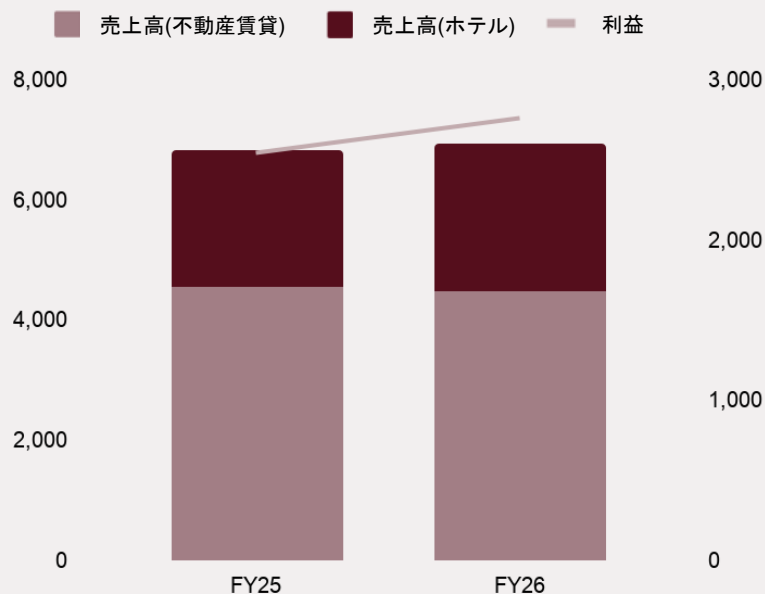
▶ 商品事業(劇場商品、ECサイト、仮面ライダーストア)

劇場関連商品は前期の反動減があった一方、仮面ライダーストア及びECサイトは好調。

太秦映画村

9月～11月に実施した『怪々YOKAI祭』が好稼働したものの、大阪・関西万博や夏期の酷暑の影響、及びリニューアル工事に伴うエリア縮小により減収。

(百万円)		FY25	FY26	増減比率	
観光不動産事業	売上高	6,838	6,920	82	1.2%
	利益	2,542	2,757	215	8.5%



(百万円)

観光不動産事業の分析

サブセグメント別売上高比較

(百万円)		FY25	FY26	増減比率	
観光不動産事業	不動産賃貸	4,536	4,460	▲75	▲1.7%
	ホテル	2,302	2,459	157	6.8%

不動産賃貸

賃貸運営は堅調に推移。一方、テナントの入れ替えによる家賃減額期間があったため減収。

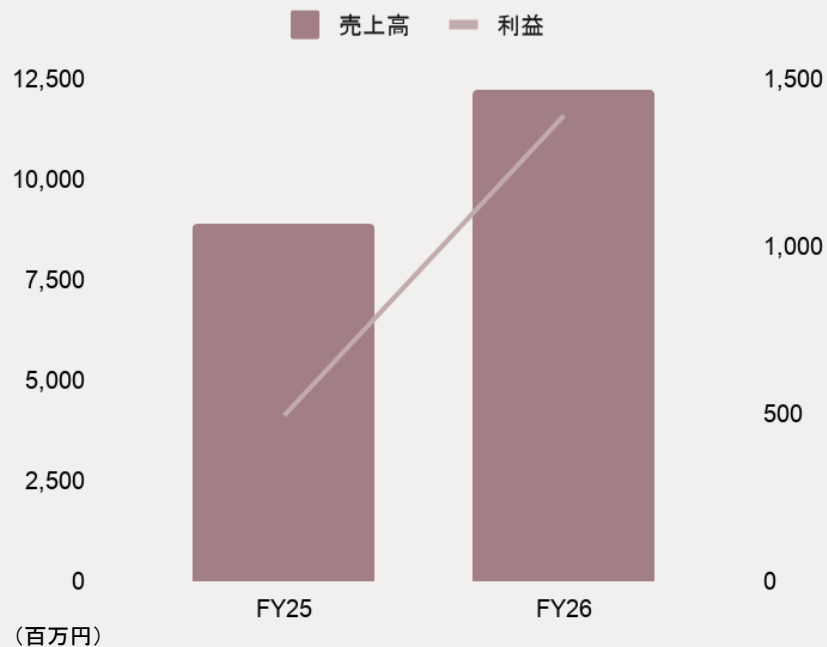
保有する賃貸等不動産のうち、一部マンションを売却。

ホテル

インバウンド需要を背景に稼働率が向上。福岡東映ホテルが好調に稼働し増収。

(百万円)		FY25	FY26	増減比率	
建築内装事業	売上高	8,890	12,238	3,347	37.7%
	利益	496	1,390	893	179.9%

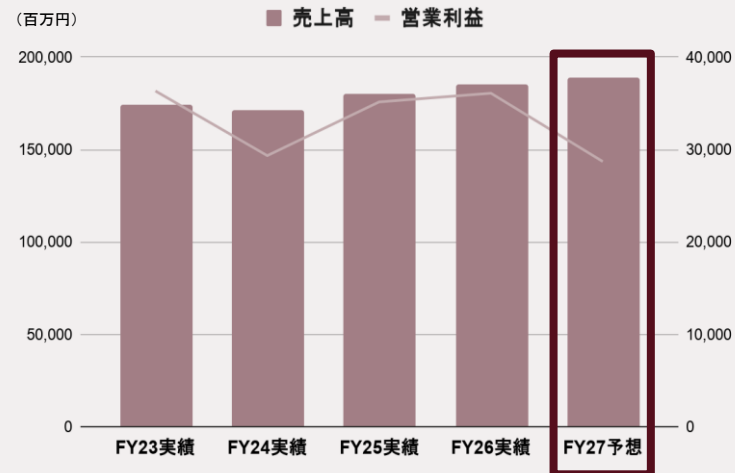
建築内装事業の分析



シネマコンプレックスの改装工事をコンスタントに受注。また、マンション建設工事、老健施設、障がい者支援施設の工事等の増加に伴い大幅に増収。

資材費が高騰する中、原価および販管費を適切にコントロールした結果、前期を大きく上回る利益を確保。

(百万円)	FY23実績	FY24実績	FY25実績	FY26実績	FY27予想	増減率	
売上高	映像関連事業	135,179	125,980	134,024	127,941	139,700	9.2%
	興行関連事業	18,449	20,174	18,966	25,226	21,400	▲15.2%
	催事関連事業	10,015	10,085	11,203	13,006	12,300	▲5.4%
	観光不動産事業	5,967	6,494	6,838	6,920	7,000	1.2%
	建築内装事業	4,746	8,610	8,890	12,238	8,600	▲29.7%
	小計	174,358	171,345	179,922	185,333	189,000	2.0%
営業利益	映像関連事業	35,167	26,333	33,655	32,448	27,000	▲16.8%
	興行関連事業	900	1,907	782	2,403	900	▲62.5%
	催事関連事業	1,276	1,422	1,269	1,616	1,900	17.6%
	観光不動産事業	2,168	2,569	2,542	2,757	2,600	▲5.7%
	建築内装事業	48	397	496	1,390	400	▲71.2%
	利益調整額	▲3,222	▲3,288	▲3,591	▲4,519	▲4,100	▲9.3%
小計	36,339	29,342	35,155	36,096	28,700	▲20.5%	
経常利益	40,172	35,317	39,992	43,543	33,400	▲23.3%	
親会社株主に帰属する当期純利益	15,025	13,971	15,722	23,320	12,600	▲46.0%	



▶ 売上高は2026年3月期比で増加しているものの、営業利益は減少。新作映像による製作原価および成長投資の実施に伴い営業利益の減を見込む。

▶ 親会社株主に帰属する当期純利益は2026年3月期にあった不動産売却益が無いため減少の見込み。

▶ 引き続き中長期ビジョンの重点施策をベースに利益拡大を目指す。

企業価値向上に向けて

p12-p20

東映グループ中長期VISION
東映NEW WAVE2033の進捗状況

P22

株主・投資家との対話状況

p21

政策保有株式の保有状況

p23

長期保有株主優待



To the World , To the Future

—「ものがたり」で世界と未来を彩る会社へ—

経営ビジョン2033

2026年で目指す姿

実写・アニメともにグローバルコンテンツの創造発信基盤を確立する

東映グループの強み

企画製作力

∴

マルチユース展開

成長戦略

実写、アニメ映像事業を強化・拡大し、グローバル展開を加速する

重点施策

1 映像事業収益の最大化

1. 企画製作力の強化
2. コンテンツのマルチユース促進
3. IPライフサイクルの長期化

2 グローバル展開へのチャレンジ

1. グローバルメジャーと共同開発・世界展開
2. 現地企業とローカライズオリジナル作品の共同制作

3 映像事業強化のための人的投資の拡大

4 持続的なチャレンジと成長を支える経営基盤強化

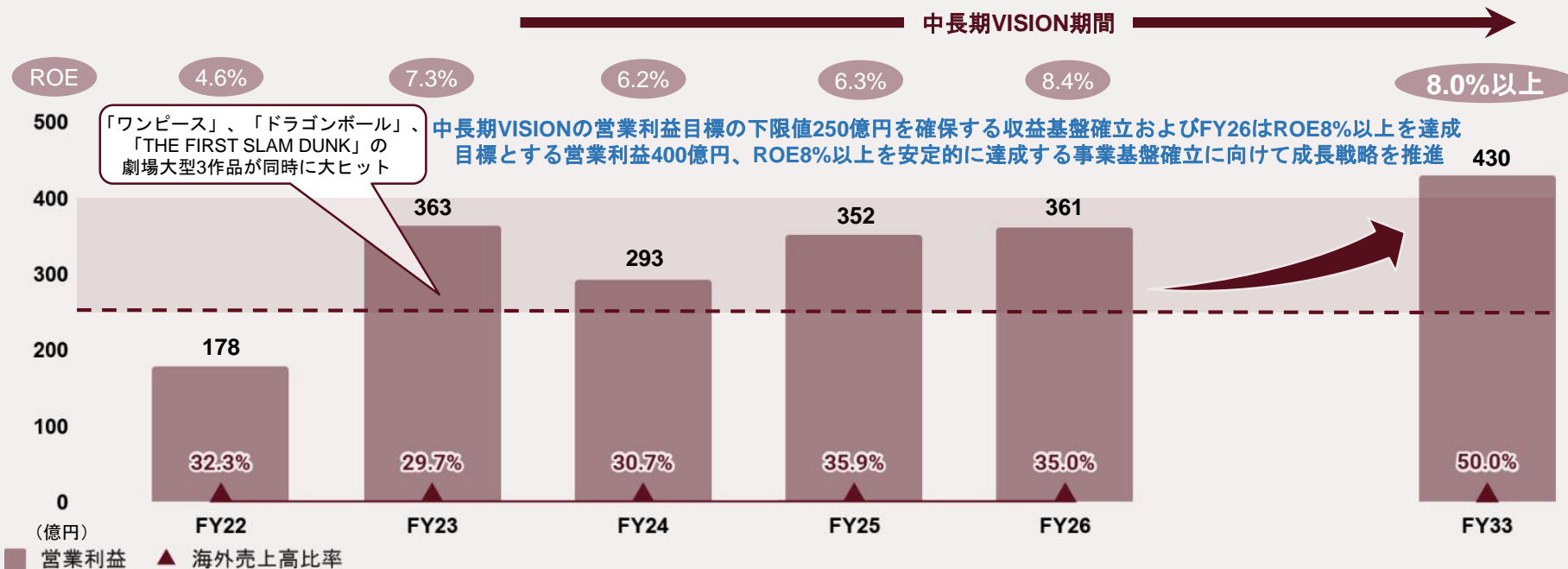
- ① 事業基盤強化に向けた投資戦略
- ② コーポレートガバナンスの強化
- ③ サステナビリティへの取り組み
- ④ 資本・財務戦略



中長期VISIONの進捗概況

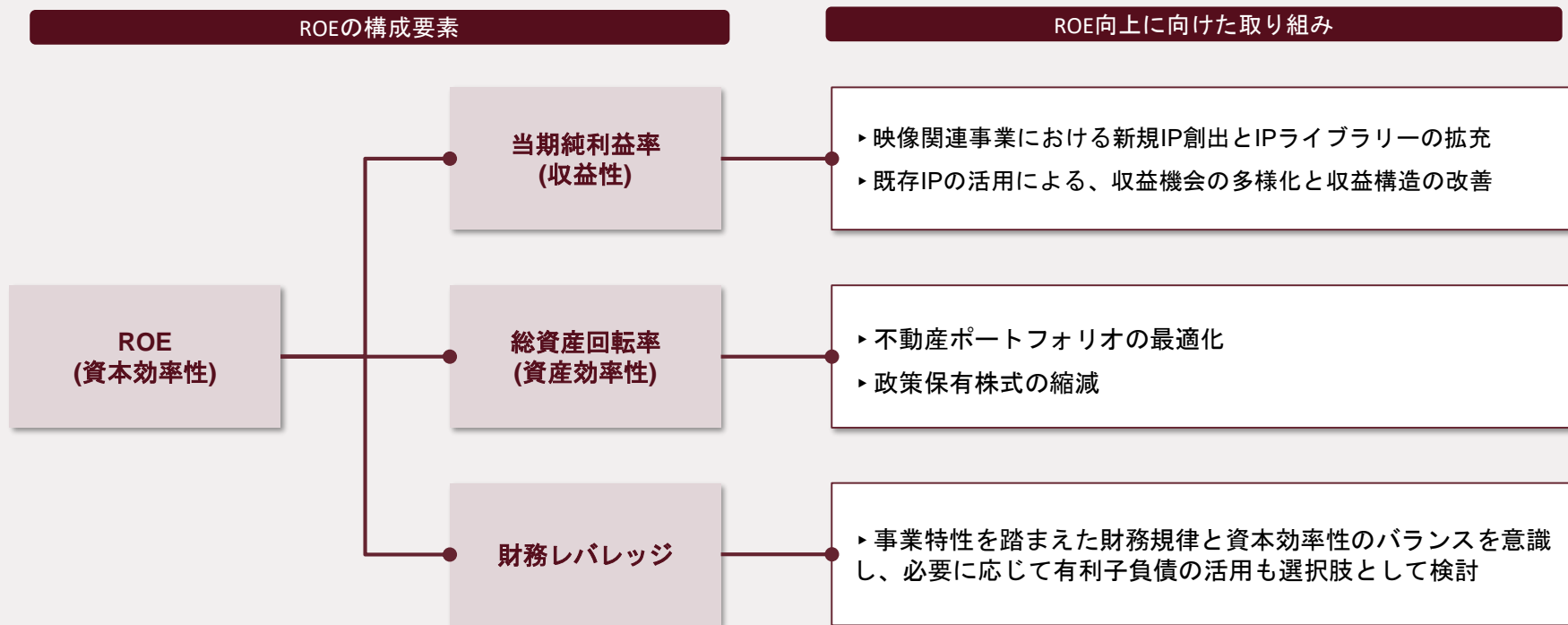
- ▶ 2023年2月に策定した中長期VISIONは、2027年3月期（今期）で4期目となり、従来の「投資期間」に並行して今期からは実写・アニメの両輪でグローバルコンテンツの創造発信基盤を確立する「実行期間」へ移行。
- ▶ 「TOEI NEW WAVE 2033」の4つの重点施策に注力し、さらなる成長に向けた企画製作力（IP創出力）の強化や人材への積極投資を通じて事業基盤の強化を推進。
- ▶ 営業利益については、中長期目標のベースラインである250～400億円を安定的に達成する収益基盤が構築されており、「世界で愛されるコンテンツを数多く発信している」という2033年3月期目標に向けて今後も取り組みを加速させる予定。

中長期VISION目標値の進捗状況





- ▶ ROEの構成要素ごとに向上に向けた取り組みを推進。
- ▶ 事業特性を踏まえつつ、収益構造の改善、資産の有効活用、資本構成の最適化を通じたROEの向上を図る。



中長期VISION以降の株価推移



- ▶ 中長期VISIONに基づいた戦略の遂行に加え、株主優待の拡充および株式分割等の株主向け施策の強化や株主・投資家面談および開示資料の拡充等のIRの強化を通じて株価の上昇を実現。
- ▶ 収益変動の激しい映像事業の特性を踏まえ、特別配当という柔軟性のある手法も活用して株主還元を実施（中長期VISION期間中は特別配当を毎期実施し、好業績時には還元水準を拡大）。

年間配当金(注1)

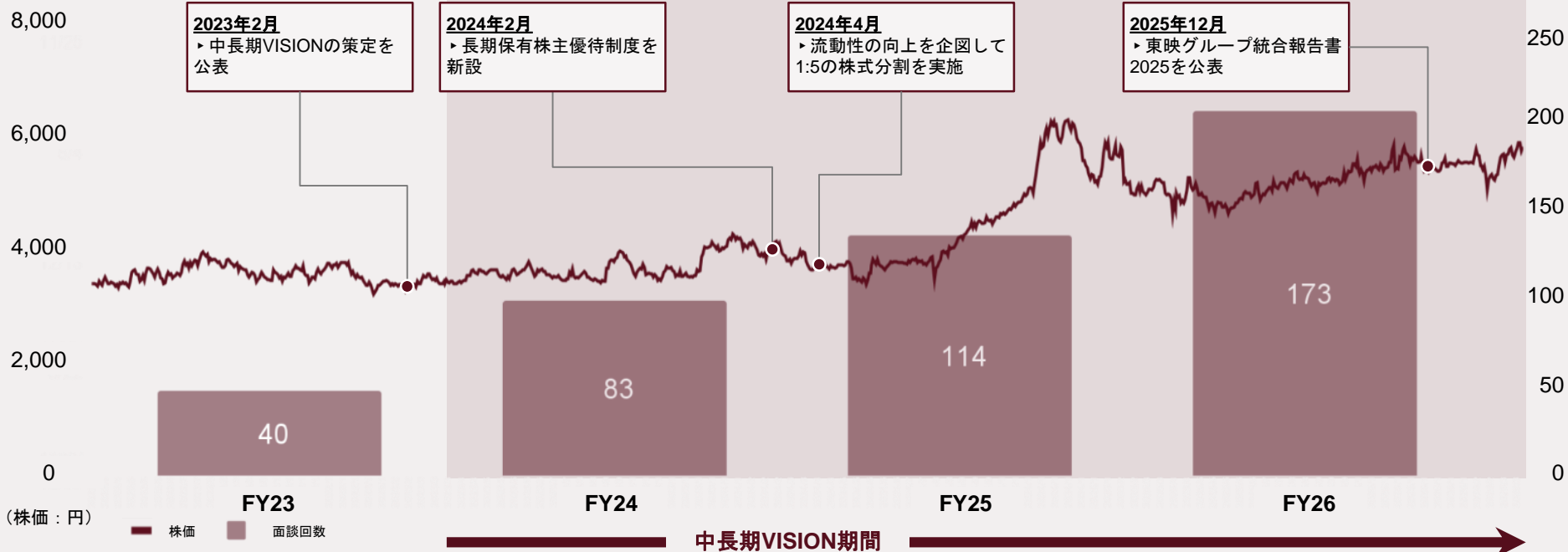
26 ★

27 ★

18 ★

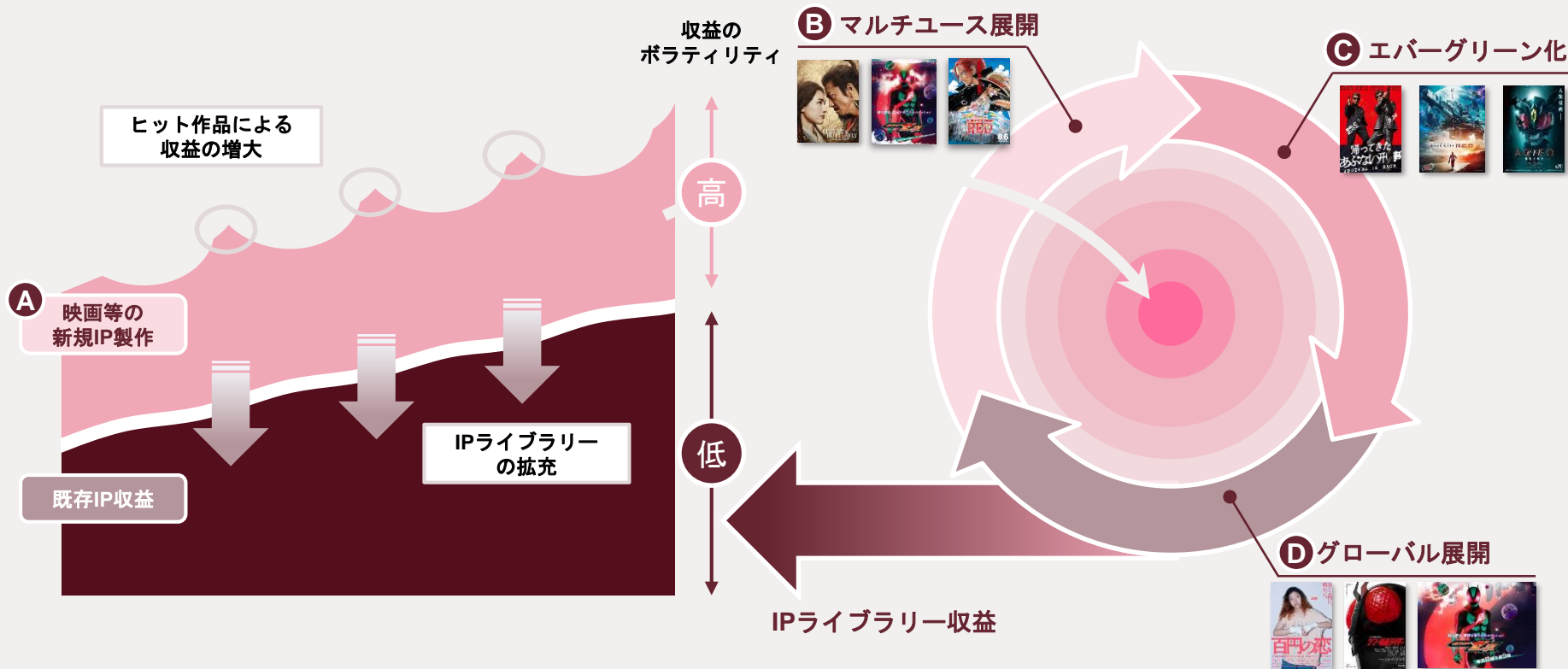
36(注2) ★

★：特別配当実施





- ▶ 映像関連事業における新規IPの製作は、作品ごとのヒットの程度により一定の収益変動が生じ得る特性あり。
- ▶ 製作したIPをライブラリーとして蓄積し、配信、商品化、海外展開等のマルチユース展開およびエバーグリーン化を推進することで、収益のボラティリティを抑制しつつ、IPライフサイクル全体を通じた安定的な収益創出と収益規模拡大の両立を目指す。



1 映像事業収益の最大化

▶ 最新の映像製作技術の開発や企画体制の見直しを通じて生み出された人気映像作品のマルチユースの加速や、過去作品のリポート展開によるIPのエバグリーン化を通じて映像事業の収益基盤の強化が着実に進展。

① 企画製作力の強化

最新の映像製作技術の導入によるIP創出力の強化



インカメラVFXを導入した
東映バーチャルプロダクション

企画体制の見直し

- ▶ 2022年7月
<企画審議会の発足>
⇒マーケティングデータを参考に企画案を審議
- ▶ 2023年4月
<マーケティング室の設置>
⇒数字に基づいた分析による企画のブラッシュアップ
- ▶ 2025年10月
<映像企画部の設置>
⇒メディア軸ではないIP軸の発想を目指し、映画企画部とドラマ企画制作部の企画機能を統合

② コンテンツのマルチユース

公開作品の国内外配信による認知の拡大／展開の加速



キャラクターIPの収益最大化に向けた組織体制の構築



豊富なプロデュース経験を有する白倉上席執行役員を中心にIPマルチユースのスペシャリストを集めたキャラクタービジネスを推進する「キャラクター戦略部」を設立

- 2026年4月
「仮面ライダーロードマップ」を発表
- ▶ 映画新レーベル
THE KAMENRIDER CHRONICLE
THE KAMENRIDER ANIMATED
THE KAMENRIDER PREMIUM
 - ▶ ゲーム「Game Project HENSHIN」



③ IPライフサイクルの長期化

リポート作品の展開によるIPのエバグリーン化

あぶない刑事



1986-87年放送



2024年公開

宇宙刑事
ギャバン



1982-83年放送



2026年放送開始

新幹線
大爆破



1975年公開



2025年Netflixで
世界配信開始

仮面ライダー
生誕55周年記念作
『アギトー超能力戦争』





2 グローバル展開へのチャレンジ

- ▶ 海外ファンやパートナー企業との接点の強化、また東映IPの積極活用により、海外の多くの観客に支持される作品が生まれヒットを記録。
- ▶ 海外市場・プレーヤーとのタッチポイントの増加により、グローバル展開の基盤強化を実現。

日本発実写作品の海外上映

『百円の恋』(2014年)の中国リメイク版(2024年)



中国でリメイクされた日本映画の最高興行収入を記録
中国での興行収入は700億円を突破

シン・仮面ライダーの海外劇場上映(2023年)



アメリカやタイ、台湾、香港などで劇場公開
上映後に世界200以上の国と地域で配信

海外ファン基盤の強化

ファンとのダイレクトコミュニケーションの強化



香港・タイ・マレーシアにて「仮面ライダー展」開催
香港にて「仮面ライダーポップアップストア」展開

世界サイマル放送による海外ファン層の開拓



『仮面ライダーゼツ』の全世界での
サイマル配信・放送を実現

パートナー企業との提携

ステアリングコミッティ設立による協働の強化



新たなエンターテインメントの創造に向けて、テレビ朝日とコンテンツ制作、グローバル展開、リアルエンターテインメントの各分野で協働関係を深化

映像作品の共同製作と玩具展開



バンダイナムコHDと『動物戦隊ジュウオウジャー』のショートアニメを共同製作し、韓国での配信および玩具ビジネスを展開

戦略的共同製作パートナーシップの締結



タイ大手エンターテインメント企業「M STUDIO」と提携し、アジアを中心に国際的な競争力のある映画作品の創出を目指す



3 映像事業強化のための人的投資の拡大

- ▶ 「働き方改革」への取り組み強化や、働く全ての人々が最大限に能力を発揮できる環境の整備により、長期的な企業価値の向上を実現。
- ▶ 人材育成・組織活性化に係る様々な施策により、「個」の強化を実現し、東映グループ全体の競争力の向上に貢献。

働く環境の整備／働き方改革

日本映画製作適正化機構（映適）ガイドラインの遵守

長時間労働の是正

D&Iの推進

リスペクトトレーニングの継続実施

計画的な人材育成

映像企画部ユニット制の導入
プロデューサー 海外作品開発トレーニング
研修制度の充実
（東映塾の開催、階層別研修等）

組織の活性化

「さようなら丸の内TOEI」プロジェクトの実施
東映グループ社員持株会の導入
キャリアチャレンジ制度の新設
キャリア採用人材の拡充
（中途採用比率50%目標）

4 持続的なチャレンジと成長を支える経営基盤強化

- ▶ 太秦映画村の再開発やバーチャルプロダクション等、製作設備・不動産に関連する様々な成長投資の実行により、東映グループの事業基盤を着実に強化。
- ▶ コーポレートガバナンスやサステナビリティ等のESG活動の強化や、政策保有株式に係る資本効率の向上、積極的なIR・SR活動の実施により、東映グループの経営基盤を強化。

① 事業基盤強化に向けた投資戦略

太秦映画村の再開発
バーチャルプロダクションの本格稼働
大泉社員寮の再開発

② コーポレートガバナンスの強化

サクセッションプランの制定
役員業績連動報酬の導入・見直し

③ サステナビリティへの取り組み

サステナビリティ推進室の設置
マテリアリティ・価値創造プロセス策定
統合報告書2025の発行
「ボトルtoボトル資源循環型リサイクル」
の開始
「ハラスメントゼロ宣言」

④ 資本・財務戦略

資本効率の向上
政策保有株式の精査・縮減
市場を意識した施策
株式分割
積極的なIR・SR活動

太秦映画村の再開発／事業計画の更新

- ・事業基盤強化に向けた投資戦略の一環として再開発を進めている「太秦映画村」が、2026年3月28日、「大人の没入体験パーク」として第1期リニューアルオープン。
- ・年間動員数の更なる拡大をもって経営基盤強化を促進。

第1期リニューアルオープン

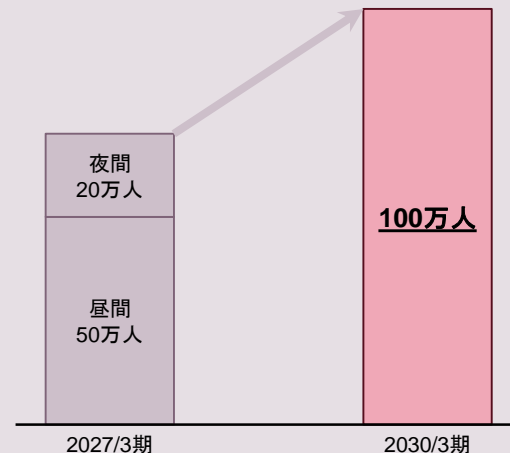
2026年3月28日、第1期リニューアルオープンを実施



名称を『太秦映画村（英語表記:UZUMASA KYOTO VILLAGE）』へ変更。
「江戸時代の京へ、迷い込む」を新たなコンセプトに掲げ、
20代・30代を中心とした大人やインバウンドの来場者も楽しめる
「大人の没入体験パーク」に生まれ変わった。

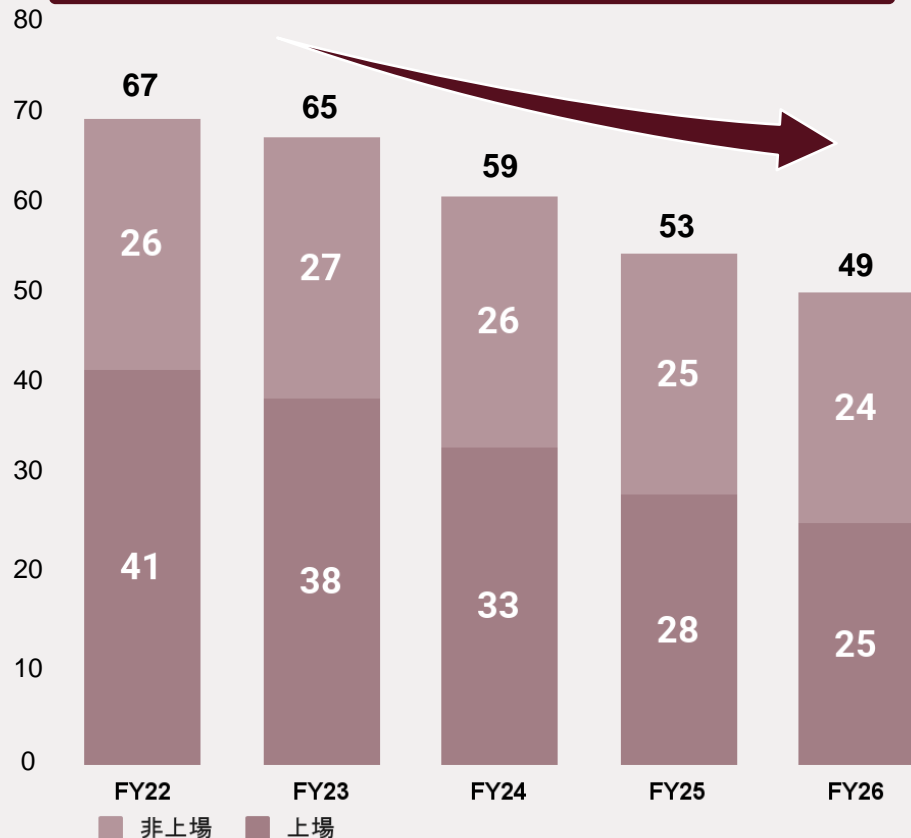


年間目標動員数



2028年
全3期工事完了・
フルリニューアルオープン予定

政策保有株式の保有状況（銘柄数）^(注1)



注1: 政策保有株式の銘柄数は、特定投資株式及びみなし保有株式の合計値を使用

縮減動向及び縮減方針

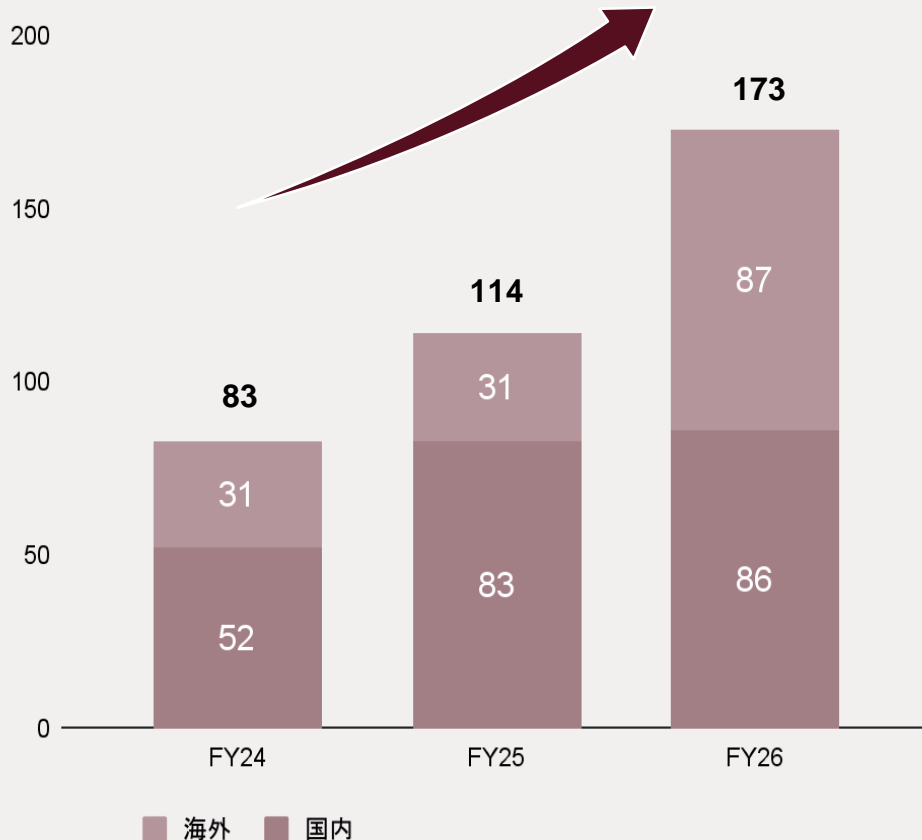
【縮減動向】

- ▶ 2026年3月期において上場株式3銘柄、非上場株式1銘柄を売却。
また、上場株式1銘柄については保有株式数を縮減。

【縮減方針】

- ▶ 保有する政策保有株式について、発行会社の最近事業年度の経営成績、財政状態、配当状況、株価等を定期的に取り締役に報告し、保有目的の適切性・経済合理性等を総合的に検証。
- ▶ 検証の結果、保有を継続する理由が希薄になったと判断した銘柄については縮減の対象とし、売却を検討する方針。

株主・投資家との面談回数



株主・投資家との面談概要

- ▶ 国内外のアナリスト、機関投資家のファンドマネージャーおよび議決権行使担当者等との対話を実施。
- ▶ 対話の状況は、取締役会に適宜報告し、経営に反映。

面談の主なテーマ

ガバナンス

- ▶ 親子上場
- ▶ 買収防衛策
- ▶ 社外取締役の独立性

中長期VISION

- ▶ 成長戦略の具体策
- ▶ 成長投資の内容

資本効率性

- ▶ PBR・ROE向上
- ▶ キャッシュアロケーション配当性向
- ▶ 政策保有株式の縮減保有不動産の活用等

サステナビリティ

- ▶ 人的資本経営
- ▶ 統合報告書
- ▶ サイバーセキュリティ

業績

- ▶ 事業環境、業績見通し
- ▶ IP戦略、海外戦略
- ▶ 太秦映画村・東映会館のリニューアル計画等

その他

- ▶ 株主還元
- ▶ 女性管理職比率の状況
- ▶ 生成AIへの対応等

長期保有株主優待として年間を通じた抽選イベントを実施。

1. 2026年3月末時点の長期保有株主対象

(1) グッズの進呈

内容：「超宇宙刑事ギャバン インフィニティ」オリジナルグッズ

応募時期：2026年4月10日（金）～5月22日（金）

発送時期：2026年5月下旬

(2) 東映東京撮影所 見学ツアー

内容：当社東京撮影所における施設見学ツアー

応募時期：2026年6月24日（水）～7月24日（金）

当選発表：2026年7月28日（火）予定

開催時期：2026年8月28日（金）

募集人数：10組20名程度

※全て抽選です。

※対象になるのは、毎年3月末・9月末現在の当社株主名簿に、同一株主番号で3回以上連続して1単元（100株）以上の保有株式数が記載または記録された株主です。

※本案内は現時点での予定であり、内容・実施時期等が変更となる場合があります。

※各イベントの応募方法、抽選方法、詳細な条件等については、開催時期が近づき次第、改めて当社ホームページ、LINE IR NEWS等にてお知らせします。

2. 2026年9月末時点の長期保有株主対象

(1) 映画試写会へのご招待

内容：当社配給作品の試写会チケット

応募・開催時期：2026年度内

募集人数：10組20名程度

(2) グッズの進呈

内容：当社関連作品オリジナルグッズ（内容未定）

応募・発送時期：2026年度内

p25

映画月間興行収入

p26-28

作品ラインナップ

映画

P26

テレビ・配信・ラジオ

P27

催事・商品

P28

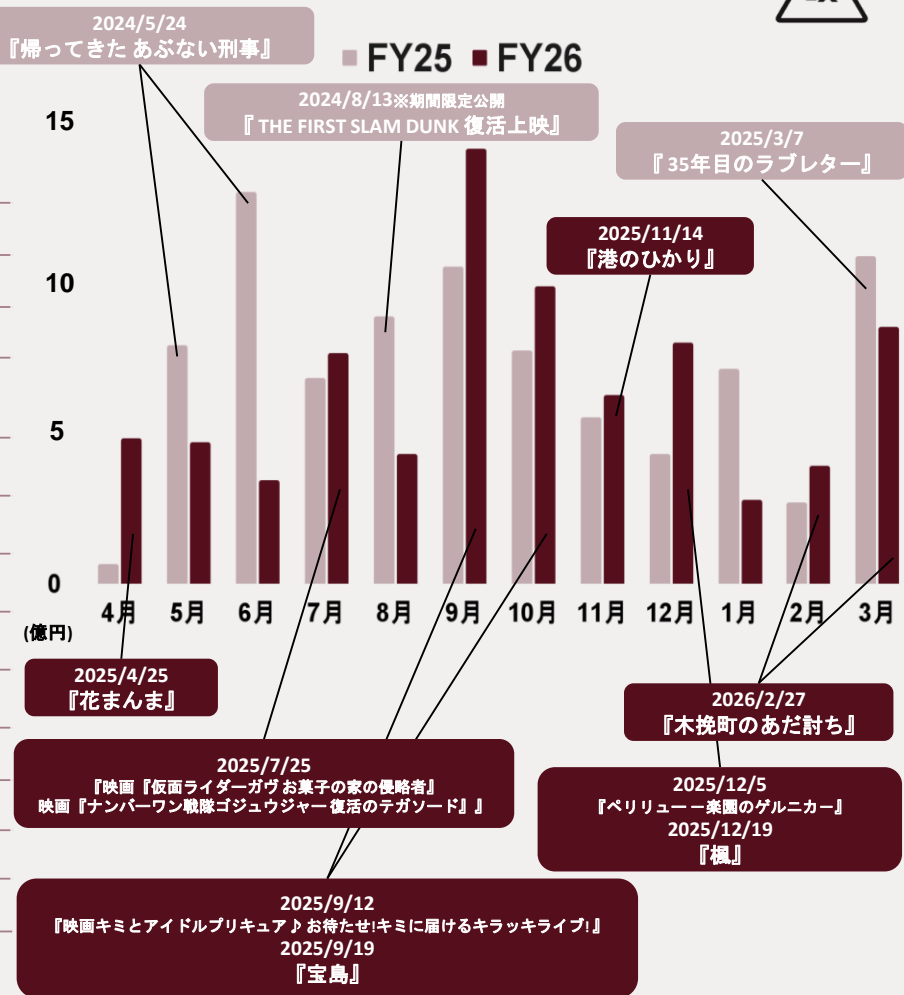
p29

東映グループのビジネスモデル



月間興行収入 一覧

(億円)	FY25	FY26	前期比	FY26月別の主な稼働作品
4月	0.6	4.6	770.8%	『花まんま』『35年目のラブレター』『映画おしりたんていスター・アンド・ムーン』
5月	7.6	4.5	59.0%	『花まんま』『35年目のラブレター』『BADBOYS -THE MOVIE-』
6月	12.6	3.3	26.2%	『でっちあげ～殺人教師と呼ばれた男』『BADBOYS -THE MOVIE-』『花まんま』
7月	6.6	7.4	112.4%	『でっちあげ～殺人教師と呼ばれた男』『映画『仮面ライダーガヴ お菓子の家の侵略者』/『映画『ナンバーワン戦隊ゴジウジャー 復活のテガソード』』『この夏の星を見る』
8月	8.6	4.1	48.5%	『映画『仮面ライダーガヴ お菓子の家の侵略者』/『映画『ナンバーワン戦隊ゴジウジャー 復活のテガソード』』『ChaO』『この夏の星を見る』
9月	10.2	14.0	137.1%	『映画キミとアイドルプリキュア♪お待たせ!キミに届けるキラッキライプ!』『宝島』『映画『仮面ライダーガヴ/映画『ナンバーワン戦隊ゴジウジャー』』
10月	7.5	9.5	127.3%	『映画キミとアイドルプリキュア♪お待たせ!キミに届けるキラッキライプ!』『宝島』『THE FIRST SLAM DUNK 2025 in cinema』
11月	5.3	6.0	112.8%	『港のひかり』『劇場版『ゾンビランドサガゆめぎんがパラダイス』』『劇場版総集編 ガールズバンドクライ【後編】なぁ、未来。』
12月	4.1	7.7	185.6%	『ベリリュー-楽園のゲルニカ-』『楓』『劇場版総集編 ガールズバンドクライ【後編】なぁ、未来。』
1月	6.9	2.7	39.1%	『楓』『ベリリュー-楽園のゲルニカ-』『キミとアイドルプリキュア♪LIVE2025 You&I=We're IDOL PRECURE』
2月	2.5	3.7	146.3%	『劇場版 僕の心のヤバイやつ』『木挽町のあだ討ち』『ベリリュー-楽園のゲルニカ-』
3月	10.5	8.2	78.6%	『劇場版 僕の心のヤバイやつ』『木挽町のあだ討ち』
合計	83.0	75.7	91.2%	



※百万円未満を切り捨てて表示しております。



映画

▶ 2026年

6月5日 SAMURAI BLUE Project for FIFA World Cup 2026™

『ONE CREATURE』 無数の個性、ひとつの生きもの。

6月19日 『免許返納?!』

7月24日 『仮面ライダーゼツ&超宇宙刑事ギャバン インフィニティ Wヒーロー夏映画2026』

9月18日 『映画名探偵プリキュア!』

9月25日 『藁にもすがる獣たち』

10月2日 『ママがもうこの世界にいても 私の命の日記』

11月13日 『楽園追放 心のレゾナンス』

12月25日 『BYE BYE LOVE 探偵はBARにいる』

▶ 2027年

1月8日 『高校生家族』

2月5日 『存在のすべてを』

公開予定 『腹をくくって』



テレビ

▶実写

放送中

- 『仮面ライダーゼッツ』（テレビ朝日系）
- 『超宇宙刑事ギャバン インフィニティ』（テレビ朝日系）
- 『ボーダレス～広域移動捜査隊～』（テレビ朝日系）

▶アニメ

放送中

- 『DIGIMON BEATBREAK』（フジテレビ系）
- 『名探偵プリキュア!』（ABC・テレビ朝日系列）
- 『ワンピース』（フジテレビ系）
- 『おしりたんてい』（NHK Eテレ）



配信

配信中

『仮面ライダーゼッツ SERIES OF SISTER'S SUBSTORY エージェント美浪』
（東映特撮ファンクラブ (TTFC) にて）

配信中

『超宇宙刑事ギャバン インフィニティ 補完捜査 ギャバンの非番』 （東映特撮ファンクラブ (TTFC) にて）

配信中

『ナンバーワン戦隊ゴジュウジャー ポーラー・ビギニング』 （東映特撮ファンクラブ (TTFC) にて）

2026年6月7日 『フォルティクス 配信！推しを継ぐもの』 （東映特撮ファンクラブ (TTFC) にて）

ラジオ

放送中

『朝☀おき子さん』 （ラジオドラマ/BAYFMにて放送）



催事

- 『ブルックリン博物館所蔵 特別展 古代エジプト』 2026年3月～ 大阪、長野、ソウル
- 『松本零士展 創作の旅路』 2026年3月～ 愛知ほか
- 『シルバニアファミリー展40th』 2026年5月～ 香川、福岡ほか
- 『名探偵プリキュア！ いっしょになぞとき！ はなまるかいけつフェスティバル！』 2026年5月～ 大阪、東京
- 『全スーパー戦隊展』 2026年7月～ 大阪ほか
- 『真アギト展』 2026年7月～ 福岡ほか
- 『マリメッコ展 模様の中から Marimekko: Art of Printmaking –Beauty, Dream, Love』 2026年7月～ 京都、東京、広島ほか
- 『シティーハンター大原画展～FOREVER, CITY HUNTER!!～』 2026年7月～ 大阪ほか
- 『スーパーヒーロー夏祭り2026』 2026年8月 東京

商品

- 仮面ライダーストア TOKYO 東京
- 仮面ライダーストア ポップアップストア 長崎、大阪、沖縄、鹿児島ほか



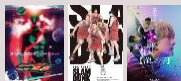
① 自ら企画製作し、

多様で魅力的な作品群を企画

- ▶ 劇場映画 4,400作品以上
- ▶ テレビ映画 39,000話以上
- ▶ 配信映画 600話以上

オリジナル

原作もの



映像製作インフラ

▶ 撮影からポストプロダクションまでのワンストップ体制

撮影



東京撮影所



京都撮影所

映像研究



ツクン研究所

ポストプロ



東映ラボ・テック

アニメ



大泉スタジオ

② マルチユース展開

▶ 劇場からテレビ、ネット配信までマルチチャネルをカバー

配給

興行

テレビ放送

配信

DVD Blu-ray

商品化

書籍化

ゲーム化

イベント化

舞台化

海外展開



ティ・ジョイ



東映
オンラインストア



東映特撮
YouTubeOfficial

③ 作品をフランチャイズ化することで接点を増加 IPが生み出す収益の最大化を目指す

収益
最大化

IP認知度向上
ファン化等

利益の積重ね



利益の積重ね



IP

接点増加

本資料の内容には将来に対する見通しが含まれていますが、実際の業績は様々な状況変化や要因により、見通しと大きく異なる結果となりえることがあり、保証を与えるものではございませんのでご了承下さい。また、本資料の無断転載はお断りいたします。

本資料に関するお問合せ
東映株式会社 経営戦略部広報室
MAIL : keisen_koho@toei.co.jp
担当 : 内藤 奥本 加藤

©2026「免許返納!？」製作委員会 ©2023「THE LEGEND & BUTTERFLY」製作委員会 ©2025 石森プロ・テレビ朝日・ADK EM・東映 ©尾田栄一郎/2022「ワンピース」製作委員会
©2024「帰ってきたあぶない刑事」製作委員会 ©テレビ朝日・東映AG・東映 ©2026「劇場版アギト」製作委員会 ©2014東映ビデオ ©石森プロ・東映/2023「シン・仮面ライダー」製作委員会
©東映・日本テレビ ©東映 ©New Classics Media Corporation ©石森プロ・テレビ朝日・ADK EM・東映 ©2026「ONE CREATURE」製作委員会 ©2026 映画「ゼッツ・ギャバンイン
フィニティ」製作委員会 ©2026 映画名探偵プリキュア！製作委員会 ©曾根圭介/講談社 ©2026「藁にもすがる獣たち」製作委員会 ©遠藤和/小学館 ©2026「ママがもうこの世界に
なくても」製作委員会 ©テレビ朝日・東映 ©本郷あきよし・フジテレビ・東映アニメーション ©ABC-A・東映アニメーション ©「朝おき子さん」製作委員会 ©東映特撮ファンクラブ
Photo: Brooklyn Museum ©松本零士/零時社 ©EPOCH ©石森プロ・東映 ©Marvel Characters, Inc. All Rights Reserved Kilaava, Annika Rimala, 1967/ Viidakko, Pentti Rinta, 1981/ Seppel,
Antti Kekki, 2022 ©北条司/コアミックス 1985 ©石森プロ・テレビ朝日・ADK EM・東映AG・東映 ©2025「港のひかり」製作委員会 ©I.T.PLANNING, INC. ©2022 THE FIRST SLAM
DUNK Film Partners ©赤坂アカ×横槍メンゴ/集英社・2024 映画【推しの子】製作委員会